

協議会活動報告

日本遺産フェスティバルin極上の会津に参加

10月27日(土)・28日(日)会津若松市 鶴ヶ城体育館



教育遺産群のブース。構成各市の観光パンフレットもお配りしました。(左)



百四ストーリーが大集合。(右)

全国の日本遺産が一堂に集合！年に一度のフェスティバルが開催！



江戸時代の算数「和算」にチャレンジ！

日本最大規模の私塾「咸宜園」グッズの福引。学業成就に効果アリ！？



たくさんの方にお立ち寄りいただきました！

地域の文化や伝統を語るストーリーが認定される「日本遺産」。教育遺産群は、身分や年齢、地域を問わず、様々な形で教育が行われ、当時の日本人の高い識字率や礼儀・作法等を築き、世界を驚かせました。そのストーリーが「近世日本の教育遺産群」として全国で初めて日本遺産に認定されました。日本遺産制度は、文化財そのものの価値だけではなく、有形・無形の点在する文化財を「面」としてとらえ、活用・発信することで地域活性化を図る目的があります。北海道から沖縄まで、現在百四つのストーリーが認定されており、日本遺産フェスティバルは、そんな日本遺産が一堂に集結し、各地の文化や伝統に直接触れる事のできるイベントです。東北での開催は今回が初。地元の方のご協力もあり、にぎやかなイベントになりました。ブースにお越しの方から、「私は学校の教員ですが、昔の学びも面白いですね。」とありがたい声もいただきました。ご来場・ご協力ありがとうございました。(協議会事務局)

地域の文化や伝統を語るストーリーが認定される「日本遺産」。教育遺産群は、身分や年齢、地域を問わず、様々な形で教育が行われ、当時の日本人の高い識字率や礼儀・作法等を築き、世界を驚かせました。そのストーリーが「近世日本の教育遺産群」として全国で初めて日本遺産に認定されました。日本遺産制度は、文化財そのものの価値だけではなく、有形・無形の点在する文化財を「面」としてとらえ、活用・発信することで地域活性化を図る目的があります。北海道から沖縄まで、現在百四つのストーリーが認定されており、日本遺産フェスティバルは、そんな日本遺産が一堂に集結し、各地の文化や伝統に直接触れる事のできるイベントです。東北での開催は今回が初。地元の方のご協力もあり、にぎやかなイベントになりました。ブースにお越しの方から、「私は学校の教員ですが、昔の学びも面白いですね。」とありがたい声もいただきました。ご来場・ご協力ありがとうございました。(協議会事務局)

記事募集

教育遺産群通信に載せる記事を募集しております！
弘道館・偕楽園、足利学校、閑谷学校、咸宜園・豆田町に実際行ってみたい…
綺麗な写真が撮れた…等、皆様の投稿をお待ちしております！
投稿は
こちらから→



「近世日本の

教育遺産群サポーター」とは？
世界でも稀にみる教育先進国だった、近世の日本。今も残るその遺産たちの魅力発信や、世界遺産登録推進事業の補助をしています。年会費無料。まだまだメンバー募集中！ぜひお友達をお誘いください。
詳しくはこちら→



INFORMATIONS

【足利学校(栃木県足利市)】

無料公開
令和7年1月1日(水)~3日(金)
入徳門~大成殿、南庭園を公開

【閑谷学校(岡山県備前市)】

初読の儀
令和7年1月4日(土)
新年の学び初めを論語で迎える、江戸時代からの伝統行事

【偕楽園・弘道館(茨城県水戸市)】

第129回 水戸の梅まつり
令和7年2月11日(火・祝)~
偕楽園では約100種3,000本、弘道館では約60種800本の梅が見られる！

日本遺産「近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一」



知ってた？

無形文化財

学校だけじゃない！？ストーリーを彩る構成文化財

今年の釈菜は十月二十六日(土)に静謐な空気の中で行われ、地元高校生や教育関係者、一般市民等七十六名が参加しました。(備前市)

特別史跡旧閑谷学校(岡山県備前市)
秋の伝統 釈菜 せきさい
閑谷学校で最も重要な伝統行事の一つ「釈菜」。釈菜は儒学の祖・孔子の遺徳を称え、恩徳を祀る儀式で、閑谷学校設立に尽力した岡山藩家臣津田永忠によって貞享三年(一六八六年)に始められました。釈菜では、まず孔子像を祀る聖廟・大成殿で孔子を祀る「大成殿の儀」を行い、その後国宝の講堂で論語を朗誦・講義する「講堂の儀」を行い、最後には「分酢の儀」として参加者で供物を分け、ともに食事をします。閑谷学校の後継である県立和気閑谷高等学校の教師が祭官を務めます。



教育遺産群通信

Webサイト



史跡足利学校校跡(栃木県足利市)
釋奠 せきてん



足利学校の釋奠は、百年以上にわたって実施されている市の伝統行事です。明治時代は冬至に挙行しましたが、大正四年から現遺蹟図書館の施工に合わせ十一月二十三日に変更され、現在に至っています。

他の釋奠と比べて特徴的なのは、孔子と弟子のほか、足利学校の創始者と言われる小野篁公へもお供えをすること、独自の形をした祭器を使用することです。今年も秋空のもと厳かに挙行され、儀式後は今年度の文化功労者に出された五味文彦(足利市)席主による講話が開かれました。

「近世日本の教育遺産群」について
日本最大規模の藩校「弘道館」、またその社会教育施設「偕楽園」そして、現存する日本最古の学校「足利学校」、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」、日本最大規模の私塾「咸宜園」とそれを支えた「豆田町」で構成されており、平成27年度には日本遺産認定第1号となりました。高い識字率、身分を超えた礼節は世界を驚かせました。



今回、初めて祭官を務めた中学生からは、「足利の歴史や文化について、もっと詳しく知りたい」と思える貴重な体験でした。また参加してみたいです」と嬉しい感想をいただきました。参加してくれた子ども達が大人数になっても、「釋奠」を継承していく存在になって欲しいと思っています。(足利市)

今年、初めて祭官を務めた中学生からは、「足利の歴史や文化について、もっと詳しく知りたい」と思える貴重な体験でした。また参加してみたいです」と嬉しい感想をいただきました。参加してくれた子ども達が大人数になっても、「釋奠」を継承していく存在になって欲しいと思っています。(足利市)

次の世代へのバトン



令和6年9月23日(月・祝)撮影

史跡足利学校(栃木県足利市)
「ごとも釋奠」
釋奠の将来の後継者育成のため、足利市内の子ども達だけで釋奠を執り行うもので、平成二十六年から実施しています。